

ワークいきいきライフいきいき “Wi-Liプラン”特集⑥

少子高齢化が急速に進み、育児・介護などに関連する課題は今や誰にでも生じる可能性があります。それぞれの家庭の事情に関係なく、仕事でも家庭でもいきいきと活躍し続けるためには、**当事者だけでなく豊田自動織機で働く全員が意識と働き方を変えることがとても大切です。**

労働組合は「意識変革・働き方改革」を重要な取り組みと位置付け、「ワークいきいきライフいきいき“Wi-Liプラン”」と命名して、みなさんと一緒になって取り組みをスタートすることにしました。ユニオンニュースでは取り組みの背景をシリーズでお伝えします。前回号(No.51)では「男性が利用できる豊田自動織機の両立支援制度」についてお伝えしました。

(前回のおさらい)

豊田自動織機には両立支援制度がたくさんあります。大介護時代も目前に迫る今、**私たちは今までと同じ考え方・働き方で本当に大丈夫なのでしょうか？一人ひとりが自分のこととして考え、みんなで行動することが大切です。**



僕はなんとなく理解できたけれど…、**みんなはどう思っているの？**

では4月に労働組合が行ったアンケートの結果をみましょう。

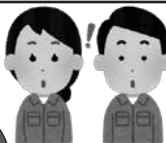
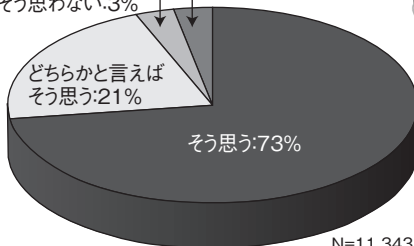


◎ あなたは社会全体で「子どもを産み、育てるための環境整備」に、取り組んでいく必要があると思いますか？

どちらかと言えば
そう思わない:3%

どちらかと言えば
そう思う:21%

そう思う:73%



へえ〜! 多くの人が社会全体での取り組みが必要だと思っているんだね。

ところであなたがイメージする「**社会全体**」ってどんなものですか？

え〜っと…、行政とか、会社とか、地域とか…かな



多くの人があなたみたいに「社会全体」のことを「行政や会社、自分以外の他の人のこと」と思っているならば、たぶん職場も世の中は変わらないわ。あなたも私も社会の一員としてちゃんと考えて、行動をはじめることが大切なんじゃないかしら。

そうだった…
ついうっかり!



そう、その通りですね。最後にアンケート後に行った懇談会でのコメントもいくつか紹介します。ぜひ「**自分の将来、会社の将来、社会の将来**」を考えながら目を通して下さい。

今は子供はいないが、
できたら育メンになりたい

昔ながらの、
遅くまで働いていると
評価されるとい
う風土がある

両立支援制度を利用する
男性が周りにいないので
利用しにくい

障がいを持つ家族が
いる場合、本人からは
言い出しにくい

小さい子供がいる方は
早く帰宅する。
そのしわ寄せがくることがある

職場が忙しくて休みづらく、
不妊治療をためらっていた
人を知っている

こういうことは
国がやるべき
ではないか？

男性を中心に早く帰ることが
許される雰囲気が
大切だと思う

労働組合はWi-Liプランの取り組みを通じて、この課題に愚直に取り組めます!

連載「Wi-Liプラン特集」は今回で終了です。ありがとうございました。